

超高齢社会 どう描く福岡のシナリオ



出典：『2030年代をみすえた持続型社会型コミュニティ形成戦略』研究プロジェクト

超高齢社会が間近に迫ってきた福岡市。男女とも80歳を超えて延び続ける平均寿命を前に、人生をどう設計し、どう生きるか。そして、経済が右肩上がりだった時代に作り上げてきた私たちの安全安心な暮らしを支える社会の仕組みを、どう持続可能なものにしていくのか、今まさに問われています。

今回の都市セミナーは、老いの期間が長くなる中、納得のいく老後を過ごすには？ 長生きして笑顔で本当に良かったと思えるような社会とは？ これらを考えるきっかけになればと開催するものです。

関心をお持ちの皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

■日時：平成27年 **10月1日(木) 10:00~12:30** (開場9:30)

■場所：**アクロス福岡 4階 国際会議場** (福岡市中央区天神1-1-1)

■プログラム：

10:00~10:05 開会 / あいさつ

10:05~10:55 **講演Ⅰ「人口減少型社会に向けて老い方・死に方が変わる」**



国際医療福祉大学大学院 医療経営管理学科分野 教授 高橋 泰氏

1959年石川県金沢市生まれ(56歳)。1986年金沢大学医学部卒、東大病院研修医(1内、2内、3内、麻酔科)、東京大学医学系大学院(医学博士(医療情報))、米国スタンフォード大学アジア太平洋研究所客員研究員、ハーバード大学公衆衛生校武見フェローを経て、1997年より国際医療福祉大学教授、2004~08年医療経営管理学科長、09年より現職。

10:55~11:25 **講演Ⅱ「高齢化・長命化が問い直す健康づくりと地域のあり方」**

福岡市副市長 荒瀬 泰子

11:25~11:35 休憩

11:35~12:20 **鼎談「超高齢社会 どう描く福岡のシナリオ」**

《パネリスト》 国際医療福祉大学大学院 教授 **高橋 泰氏**

福岡市副市長 **荒瀬 泰子**

《モデレーター 兼 パネリスト》 NPO法人 アジアン・エイジング・ビジネスセンター [AABC] 上席研究員

佐々木 喜美代氏

12:20~12:30 会場との質疑懇談 / 閉会

■主催：(公財)福岡アジア都市研究所

■共催：福岡市

■後援：福岡地域戦略推進協議会 [Fukuoka D.C.]

《裏面に続きます》

申込み 平成27年**9月25日(金)まで** (※当研究所必着)

定員 150名 (申込多数の場合は先着順とさせていただきます) **参加無料**

「10/1都市セミナー(超高齢社会)聴講希望」と明記のうえ、参加希望者の《氏名・ふりがな》《住所》《勤務先(※住所が勤務先の場合は所属部署名も)》《電話番号》《メールアドレス》を書いて、E-mail または FAX にて、福岡アジア都市研究所まで申込み下さい。

なお、当研究所ホームページ (<http://www.urc.or.jp>) から申込みが可能です。

申込み・問合せ先 公益財団法人福岡アジア都市研究所 (担当：白浜・馬場)

住所：〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館 6階

TEL : (092)733-5686、FAX : (092)733-5680、E-mail: event1@urc.or.jp

参加申込み票 (FAX用)

公益財団法人福岡アジア都市研究所 (FAX. 092-733-5680) 宛

(公財)福岡アジア都市研究所 平成27年度第2回都市セミナー

超高齢社会 どう描く福岡のシナリオ

ふりがな	
氏名	
住所	〒 —
勤務先 (所属部署)	
電話番号	
E-mail	

申込み締め切り日時：平成27年9月25日(金) (※当研究所必着)

※申込み後、整理券は送付しません。当日は直接会場へお越しください。

※記載いただいた個人情報は、本セミナーの運営、および当研究所からのご案内以外には使用しません。